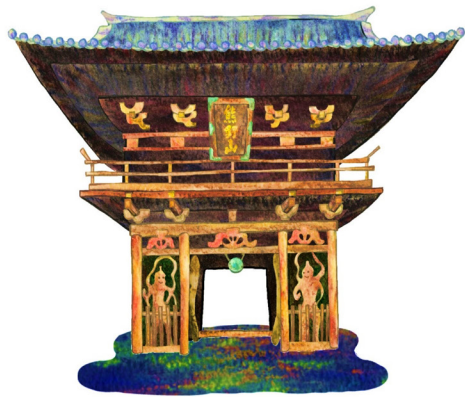


いしてのてらの
におうもんまぐぐったら



さく・え たかいちみう かとうようじ

いしてのてらの
におうもんをくぐったら



さく・え たかいちみう かとうようじ

わたしには、もうすぐ、おとうとか いもうとができる。
さいきん、ママは、あんまり あそんでくれなくなった。
「あっ、ほら、おなかのなかで、あかちゃんが、うごいた！
ラズベリーヌも さわってみて。」
「…わたしは、いいわ。」
もう、あかちゃんの ことばかり。



あるひ、かぞくで、
おてらへ おまいりにいくことになった。
あかちゃんが ぶじに うまれてくるように、
あんざんのかみさま “きしぼじんさま”に
おねがいをするらしい。
わたしは こうえんで あそびたいのに。





きしぼんさまのおどうのまわりには、なんだか たくさん の いしが おいてあった。
「ここにある いしは、“こさずけいし”って言ってね、このいしにねがいをかけて、
もってかえると、あかちゃんを さずかると いわれているんだ。
ママのおなかのあかちゃんも、このいしを もらってかえってから、さずかったんだよ。」
「…みんな いしに なにか かいてるけど？」
「あかちゃんが うまれたら、いしに そのこの なまえをかいて、
ありがとうって ここに かえすんだよ。」



「さあ、あかちゃんが ぶじに うまれてくるように
みんなで おねがいしよう。」

…どうして そんなに いっしょうけんめいなの？

ためしよみ

は

ここまでです